ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES
ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を
2013-14年度 国際ロータリー・テーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

NO.1225 平成26年4月8日

◆例会日/週火曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町1-2-12 エイワンビル2階
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

2013-2014役員
◆会長 / 小林 秋生 ◆副会長 / 渡辺 文夫
◆幹事 / 清水 良英 ◆ｸﾗﾌﾞ広報･情報委員長 / 矢島 栄一

◆点鐘	小林 秋生 会長
◆SAA	橋詰 希望 委員
◆ｿﾝｸﾞ	奉仕の理想

【会長挨拶】 小林 秋生 会長

一昨日、(4月6日)、松本大学において、次年度活動のための地区研修･協議会が開催されました。我クラブから、会長エレクトさんをはじめ幹事、各委員会担当者、計7名にて参加をして参りました。

4月と云うのに雪のちらつく大変寒い日でしたが、恒例とは言え、新年度に向けての地区行事でありますので、少し、ういういしい気分で臨みました。

このあとのプログラムで各分科会の報告が予定されておりますが、私が代理として出席した国際奉仕委員会について、ここで報告としてお話しを致したいと思います。

地区国際奉仕委員長は諏訪湖ロータリークラブの渡辺芳紀さんが、来年度も留任で委員長を務められるようであります。これにはひとつ理由がありまして、地区委員会がリードをして運営をする奉仕計画が立上っているとのことでありました。国際奉仕と云うのは、海外に向けての社会奉仕をすることが、主として通念とされています。

内容においては、フィリピンのミンダナオ社会の貧困家庭の子供達へ教育環境を整える手助けをしようと云う接点が、昨年度からあり、多分諏訪湖R･Cだろうと思いますが、すでに計画段階にありまして、本年度、そのための下見で現地を訪れ、フィリピン現地のロータリークラブとのマッチングも考えているようであります。

すでに10年程以前から、日本人で(松居友さん)ボランティア的に、この事業(Mindanao Children Library Foundation Inc.)に取り組んでいる財団がありまして、協力を要請されているようであります。前年度より地区から説明のあるグローバル補助金を利用して計画したいとのことでありました。

しかし、ご承知のように地区グローバル補助金はひとクラブ当りの予算は小さくて(1事業、1クラブ当り 20～30 万円)、海外奉仕は限界があります。

そこで地区では複数のクラブの参加を呼びかけて行いたいとのお話しでありました。内容においては、現地の恵まれない子供達の生活支援、山奥などの子供達には、寄宿舎を用意して、小中高校くらいまでの教育を支援する等具体的に、いろいろ要因がありました。

来年度より地区委員会が、リーダーシップを取って計画するそうであります。計画が具体化すれば、地区から参加の要請をしたいとの話しもされました。

分科会は大旨、このことが主題でお話しがあり、また各クラブで現在海外奉仕の取組の有無など、発表がありました。

以上、報告を兼ねまして、会長談話と致します。

【幹事報告】 清水 良英 幹事

1. 那覇西RCより地球自然環境保全活動「サンゴ植え付けダイビング」参加者募集について
   日 時 6月15日(日)

2. 日本ユネスコ協会連盟より書き損じハガキ運動協力、礼状

3. 例会変更
   佐久コスモスRC
   4月14日(月)クラブフォーラムの為
   定刻受付あり
   5月5日(月)法定休日の為休会
   定刻受付なし
   5月12日(月)クラブフォーラムの為
   定刻受付あり
   軽井沢RC
   4月14日(月)定款による休会
   定刻受付なし
   4月28日(月)夜間例会の為
   定刻受付あり
   5月5日(月)法定休日の為休会
   定刻受付なし
   蓼科RC
   4月9日(水)振替休会
   定刻受付あり
   4月23日(水)日時変更
   定刻受付あり

4月30日(水)理事会による休会
定刻受付なし
東御RC
4月23日(水)定款による休会
定刻受付なし
4月30日(水)東町歌舞伎例会変更
定刻受付あり
5月7日(水)定款による休会
定刻受付あり
丸子RC
4月17日(木)夜間例会の為
定刻受付あり
5月1日(木)定款による休会
定刻受付なし
佐久RC
4月24日(木)振替休会
定刻受付あり
上田西RC
4月10日(木)夜間例会の為
定刻受付あり
4月24日(木)例会日変更
定刻受付あり
5月1日(木)定款による休会
定刻受付なし

4. 週報　　南佐久、上田東RC

例会終了後理事会

本日の配布物
週報1224号、ロータリーの友4月号

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会　小池平一郎委員
～「ロータリーの友」4月号の紹介～

◆ラッキー賞

NO. 18　　神津　恭通　君

◆ニコBOX　　橋詰　希望　委員

小林秋生君	来週の例会日の夕刻PM6：00より親睦そば会です。ご参加の方は早く申込下さい。ご家族の方もお待ち申し上げております。
清水泰男君	「地区協議会」を所用で欠席してしまいました。
前田博志君	春らしくなりました。

小池平一郎君	3月の無尽、県の歯科医師会の臨時代議会のことで頭がいっぱいで失念してしまいました。神津さんありがとうございました。
神津恭通君	ラッキー賞、渡辺次期会長さんに引いて頂き有難うございました。

次週のプログラム：最新ミャンマー情報　／　次々週のプログラム：　県政報告

【出席報告】　黒田　説成　委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本　日　4月　8日	24	21	事前1名	3	86.36%
前々回　3月　25日	24	20	事後0名	4	80.95%

【本日のプログラム】　　「地区研修・協議会」の報告

【報告者】　発表順に

1. 渡辺文夫
次年度会長

2. 依田晋一郎
次年度幹事

3．矢島栄一会員(職業奉仕)

4．黒澤明男会員(社会奉仕)

5．湯本敏晴会員(米山奨学会)

職業奉仕部会に参加して（矢島栄一会員）

分科会の内容としては、時間の約７割が委員長によるセミナー、残りは各地区委員の方々から職業奉仕に対する所感やクラブで実践している実例発表（２クラブ）等が行なわれました。

委員長が終始い続けていたことは、「職業奉仕こそがロータリーの原点である」ということで、確かにその通りだと思います。職業奉仕は、ロータリーの多くの奉仕活動の根幹をなすものであって、そこがうまくいっていないと他の奉仕活動に大きく影響を及ぼすことはもとより、ロータリアンとして継続していくことすら困難になってしまいます。

職業奉仕は、職業というどちらかというと自分の利益のために働くことと、奉仕という他人のために働くという、どちらかというと相反するものをいかに融合させるということがたいへん難しいとのことで、その辺りのご自分の考え方を丁寧に解説されておりました。

そのあと、各地区の委員さんによる職業奉仕として感じていることを４人ほどの方が述べられました。ご自分の仕事の紹介という内容とともに、たいへんリアルで参考になる体験談も聞かせていただきました。

あと、２クラブが職業奉仕に関するプレゼンを行ない、出前講座の実践という内容で、地域の学校を中心に講演活動を行なっている様子を報告されました。ご自分の職業に関する知識を活かし、社会奉仕にも結び付けている例と感じました。

協議会の内容を参考に、次年度の職業奉仕活動を進めていきたいと考えています。

米山奨学会部会の報告（湯本敏晴会員）

ご承知のように公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の奨学金制度は、我が国独自の制度であります。無我の人、奉仕の人と言われた、日本ロータリーの創設者である米山梅吉翁を記念して作られた、留学生を支援し、学生の母国と日本との架け橋となってくれる人々を育て、ひいては平和な社会を実現するための物で、世界に誇れるロータリー活動であります。

三井章義パストガバナーが本会の常務理事として活躍されており、2600 地区といたしましては、非常に積極的な活動を代々いたして参りました。次期米山記念奨学委員会としても、中川ガバナー年度に向けて下記のような事を中心として運営して参りたいと考えております。

中川ガバナーエレクトは、すでに本奨学会に対しても活動をはじめています。その第一が、本奨学制度の趣旨と役割を、県内の人々に広く知っていただき、さらに多くのロータリアンを募り、結果として寄付金を増やしていきたいとの意向であります。テレビ等のマスメディアを通じての広報活動を予定していますので、本委員会としても積極的に努力してまいります。

本奨学金制度のねらいは、奨学金を通じて留学生とコミュニケーションを深め、学友となった後も我々との交流を通じて相互理解を高め、世界の平和を目指していく事であります。それで、すでに学友となり社会人となった元留学生とのやり取りを維持し、より強い絆を築くことが必要です。

社会で活躍している学友に呼びかけて、現状を知らせていただき、あるいは地区大会に参加してもらい、またそのことを冊子にしたりして、絆の証を作る事も重要です。宮坂年度では、広報･情報委員会から米山学友の情報冊子を作成していただきお世話になりましたが、できれば中川年度でも広報･情報委員会との協力のもとに、学友とのやり取りの結果を冊子に作成し、会員に配布したいと考えております。

また、年々減少していく傾向にあった奨学金の原資となる寄付額ですが、このところ下げ止まって、若干上昇傾向にあるとされています。より安定した寄付額を集めるために、各クラブ普通寄付金の額を３，０００円とさせていただいたらと思いますが、中川ガバナーエレクトのご指導に従いたいと思います。

最後に会員各位の益々のご理解とご協力をお願いいたして本委員会の活動趣旨を締めたいと思います。